

『原爆80周年：人体影響サマリー』

長崎大学名誉教授
日本赤十字社 長崎原爆病院名誉院長
長崎県被爆者手帳友の会 会長

朝長 万左男



2025年は原爆80周年の節目の年、1945年は、米国の核実験の成功、広島、長崎への投下の成功で、人類史における核時代の幕開けが切って落とされた年です。

非人道的核兵器が、事前の警告もなしに、人口が密集する、広島と長崎上空で、史上最初の爆発に成功、その結果合わせて20万人を超える死者と250,000人を超えるヒバクシャをうみました。

人種差別を疑わせる民主主義国アメリカの大統領トルーマン一人の決断で、アメリカは核兵器の人類史上最初の名誉を獲得して、人類史に名を残す国になりました。しかし歴史は暗転しつつあります。

80年たったいま、核兵器の非人道性は揺るぎないものとなり、世界の市民によって受け入れられています。

核の非人道性を証明した長崎大学の研究を、分かりやすく解説して、血液検査が専門の皆様が真の非人道性とは何か、完全に理解できるよう、全力で頑張ります。